



地域日本語支援ニュース こだま 第 298 号

2016.6.9



★—メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます—★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

====目次=====

1■機関誌『AJALT』39号 発行に寄せて■

2■お知らせ 夏の教え方講習会 申し込み受付中■

=====

1■AJALT からのお知らせ■

機関誌『AJALT』39号 発行に寄せて

編集長 埴 仁礼子

今年も機関誌『AJALT』39号が6月10日に発行されます。『こだま』をご愛読いただいている皆様に、39号の内容をいち早くご紹介いたします。

◆巻頭インタビュー 『私とことば』 ドナルド・キーン

長く米国コロンビア大学で教鞭を取られ、日本文学を世界に紹介した第一人者でいらっしゃるドナルド・キーン氏。2012年に日本国籍を取得なさった氏に、素敵なご自宅で、日本語との出会い、三島由紀夫氏をはじめとする昭和の文豪との交流、我が国の国語教育への思いなど、じっくりとお話を伺いました。

◆特集 『文学を読む The Charm of Japanese Literature』

前述のキーン氏は、日本人は日本の素晴らしい文学や芸術を世界に知らしめる努力を怠ってきた、と語ります。2014年に朝日新聞は、夏目漱石の「こころ」の再連載を始めました。関川夏央氏は「漱石の作品は100年を経てもあたらし

い」と言います。漱石ばかりでなく森鷗外や芥川龍之介、川端康成も新聞小説を書いた時代に、純文学は NHK の朝ドラ同様、紛れもなくエンターテインメントでした。今日の日本文化、例えば和食は無形文化遺産に登録され、京都は米国大手旅行誌の人気都市ランキングで2年連続の首位に輝き、アニメや日本古来のおもてなし精神にも世界の注目が集まっています。しかしながら、日本文学に限っては、一部の作家を除いては世界的な知名度が高いとは言えない状況です。日本語を生業としている日本語教師として、日本語で紡がれた日本文学をもっと宣伝しよう、具体的にその魅力をアピールしよう、それが今号の特集の編まれたゆえんです。

英語教育によって入り込んだ「欧文脈」は、一般の日本語に影響を与える一方で、それを意識的に多用する作家たちも現れました。作家でもあり文学を教える立場でもいらっしゃる三田誠広氏に、「日本語で書く小説」と題して、文学をより深く味わうためのヒントをご寄稿いただきました。

翻訳大国と言われる我が国で、最初に出会った文学作品が海外ものという方も少なくないのではないのでしょうか。そんな翻訳の世界も、日々変わりゆく日本語に合わせて、変化を求められているようです。翻訳家の日暮雅通氏に、「クリエイティブな裏切り者」と題し、翻訳の賞味期限や、文芸翻訳における機械翻訳の限界などを、苦勞譚を交えて、お寄せいただきました。

長年海外文学を日本に紹介し、日本文学を海外に紹介してこられた柴田元幸氏には、英文寄稿 “With Literature, There’s Never Too Much Monkey Business” で、外国人に向けてお勧め日本文学をご紹介いただきました。

日本語教育の現場では、日本文学はどのように扱われているのでしょうか。元プリンストン大学教授の牧野成一先生には「日本文学は日本語・日本文化習得にどのように役に立つか。」と題し、文学を教材に用いた日本語教育を、豊富な引用とともにご提案いただきました。

その他、外国人の方々がどんな日本文学を読んでいるかをアンケート形式で調査した「外国人の読書ノート」や、英語もあり、漫画もあり、映画もあり、朗読もあり、特に原文にこだわらずに、まずはこの文学作品から、というものをチャートと解説を交えて紹介した「はじめての日本文学」、酔狂な編集委員が文人の墓をめぐって東京中を闊歩する「掃苔双録（そうたいすごろく）」、濫立する文学賞を簡単に整理した「文学賞早わかり」、編集委員がお勧めの純文学の

一節をご紹介します「私の好きな純文学の一節」、そして紙の本にこだわりたい人に贈る東京近郊の本ガイド「本を求めて…」といったさまざまな切り口から日本文学に迫ります。

◆その他にもこんな記事が…。

おなじみヤマキー先生の気になる日本語、海外日本語教師便り・オーストラリア編、AJALT 公開講座ルポ、AJALT 教師の書棚から、学習者作品、ブラジル紀行、など、多彩な記事をご用意しています。ぜひご高覧の上、ご意見・ご感想をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

☆ ★ ☆ ★ ☆

■ご購入希望の方は、当協会 HP より、お申し込みください（定価 800 円＋消費税＋送料）。一般書店、Amazon からの購入も可能です。冊数には限りがありますので、お早めどうぞ。

---